

平成29年度決算

まちのお金の使い方をチェック

12月11日から開会した「第5回定例会」に、町長から平成29年度各会計決算認定案が上程されました。これを審査するために、議員全員で構成する「決算特別委員会」(藤本委員長、沖田副委員長)を設置し、委員会に付託し審査することとしました。

決算特別委員会では、2日間にわたり調査・質疑等を行い、慎重に審議した結果、全ての会計を全会一致で「認定すべきもの」と決定し、委員長報告書を作成して閉会しました。

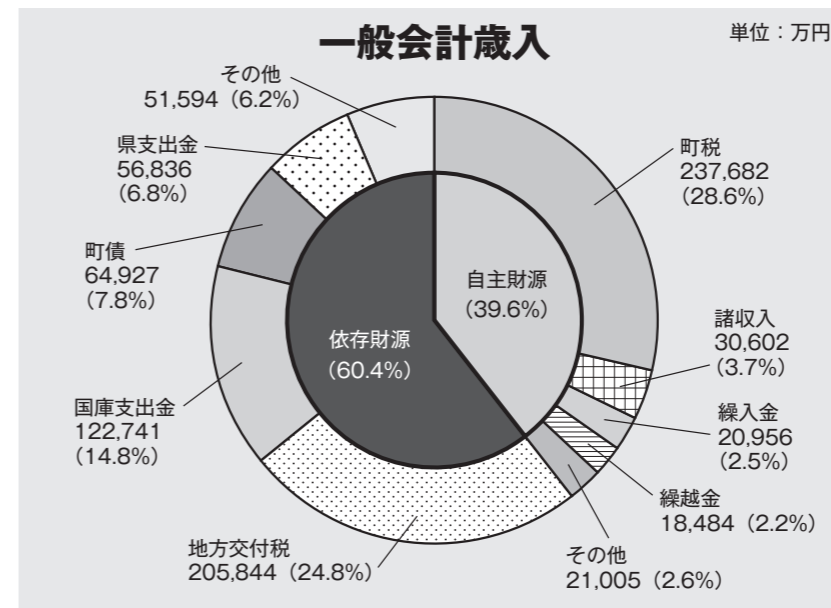
特別委員会閉会後に再開した本会議では、委員長が報告を行い全て原案のとおり認定しました。(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

平成29年度の主要事業

単位：万円
(表記単位未満は四捨五入)

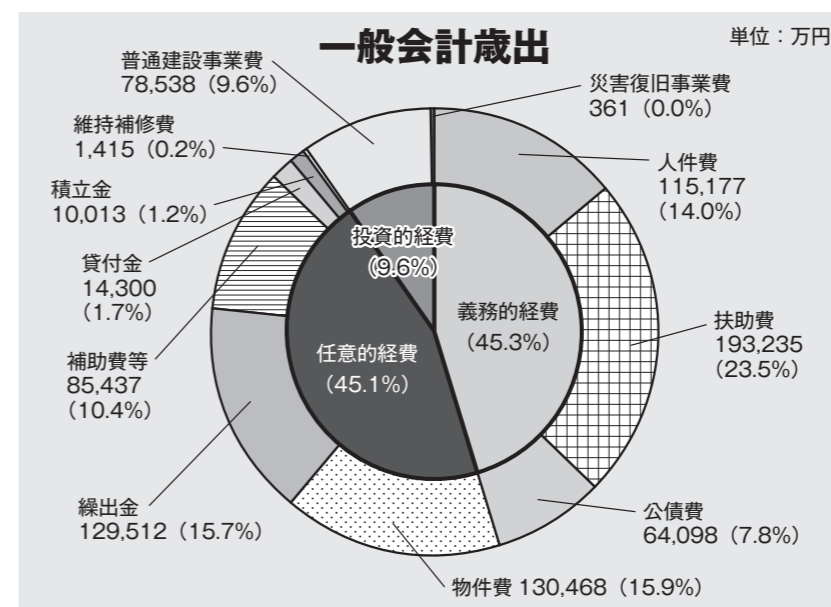
部	科	目	事業名	事業費
総務部	2 総務費	1 総務管理費	庁舎維持管理事業	5,977
		2 企画費	定住促進拠点施設整備事業	10,151
	6 商工費	1 商工費	筆の里工房事業	13,767
			商工振興事業	13,290
	8 消防費	1 消防費	災害予防及び応急対策事業 (うち 交流広場整備工事)	7,366
			(うち ハザードマップ作成業務)	1,781
			(うち 安全・安心まちづくり事業)	648
	民生部	3 民生費	3 児童福祉費	次世代育成支援対策事業
4 衛生費		1 保健衛生費	感染症対策事業	5,424
建設部	7 土木費	2 道路橋梁費	都市再生整備事業(熊野団地地区・道路)	2,049
			町道呉出来線改良事業	3,234
		4 都市計画費	町道出来中溝線改良事業	1,867
			子育て世代「住むならくまの」応援事業	1,643
教育部	9 教育費	2 小学校費	小学校一般管理事業	2,841
		3 中学校費	中学校一般管理事業	1,959
		6 社会教育費	中学校大規模改造事業	11,049
			町民会館施設管理事業	15,881
			7 保健体育費	社会体育施設管理事業

一般会計決算 歳入総額 83億671万円



◎歳入(町に入ったお金)
平成29年度の一般会計の歳入決算額は、83億671万円で、前年度に比べ、1千万円(0.1%)の増となっています。歳入決算額を自主財源(町が自主的に収入できたお金)と依存財源(国や県から交付されたお金等)に分類すると、自主財源の構成比が39・6%、依存財源が60・4%となっており、依存財源の占める割合が高くなっています。

一般会計決算 歳出総額 82億3,167万円



◎歳出(町が使ったお金)
平成29年度の一般会計の歳出決算額は、82億3,167万円で、前年度に比べ、1億1,981万円(1.5%)の増となっています。歳出決算額を性質別に分類すると、人件費や扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、全体の45・3%を、支出が社会資本形成(道路等の公共施設)に向けられる投資的経費の割合は9.6%を占めています。また、それ以外の任意的経費は45・1%を占めています。

※グラフの数値は、決算統計上の数値を用いるため、歳出総額と一致しません。



榎ヶ迫交差点付近から
ゆうあいホーム付近の拡幅



くまの・こども夢プラザの整備



駐車場の砕石舗装と
ロープ区画線の設置工事



町道出来中溝線と
熊野北農道との交差点部分改良